

令和5年度 第2回学校運営協議会・学校関係者評価委員会 議事録

期日：令和5年11月13日（月）

10:00～12:00

場所：岡山東支援学校

ボランティアルーム

出席者：委員11名

大野呂委員、小坂委員、五代儀委員、杉野委員、人見委員、福田委員、
本田委員、宮野委員、森脇委員、山本委員、原田委員

本校職員9名

白川事務部長、清岡副校長、實村教頭、石居教頭、吉田教頭、
金子教頭、影山教頭、橋田教頭、永禮主幹教諭

1 開会

<あいさつ>

（学 校 長） 気候が初冬の様相になってきており、四季ではなく二季となっている。体調を崩しやすい時期となり岡山県ではインフルエンザも流行している。体調、感染症対策に気を付けながら教育活動を行っていききたい。With コロナとなり、学校も「4年ぶりの〇〇」というように以前の行事が復活しつつある。本校でもPTAの夏祭り、同窓会、宿泊を伴う県外での修学旅行、校内外での販売活動、直接の学校間交流、居住地交流など数年ぶりに行う教育活動がたくさんある。行事に臨む子供たちの笑顔で取り組む姿から元気をもらっている。子ども自身が学ぶ、社会とともに子どもたちを育てていく中で、地域の方々からのお申し出も多くなり感謝している。本校のコミュニティスクールも今年から始まったところであり、まずは学校を知ってもらうことから始めたい。

<委員の交代>

（事 務 局） この度、東岡山駅長の岡田委員が人事異動のため、伊藤委員に交代したことを報告する。

2 説明・協議

(1) 各部の取組について

<各部教頭が資料により説明>

<A 小> 小学部の学習については、個別または集団の学習をとおして、分かること、できることを増やしている。より一人一人の実態に応じた指導を行うために、縦割りグループの学習も行っている。

地域との連携居住地校交流については、児童34名中、18名の児童が希望している。古都小学校5年生との交流は、2回実施した。

<A 中> 中学部では、小学部での学習を踏まえ、その経験を生かしながら、よりよく成長できるよう支援している。特に、中学部・高等部の卒業後を見据えた教育をするうえで、「社会性」「コミュニケーションや集団参加の力」を培うことを重視して取り組んでいる。

<A 高> 高等部では、現場実習に取り組んでいる。卒業後の社会生活にスムーズに移行するために、校内で作業の場を設定して活動している。

地域との交流では、近くの就学前の幼児が通っている「たまごクラブ」との交流をしており、2学期の後半には、同年代の東岡山工業高校さんとの交流も計画している。

<B 小> 小学部では、4つの指導方針に基づいて指導を行っている。

地域のボランティアさんによる読み聞かせの時間を設けている。さらに、地域の小学校での居住地校交流では、児童の得意なことを活動に取り入れるなど、よりよい交流になるように工夫している。

<B 中> 本学部では、地域で育つ生徒とであることを大切に考え進めている。つながりを大切にしつつ、得意なことや良いところを伸ばすこと、3年間で自分のやりたいことをみつけて将来をイメージできることを目指している。

学校外では、旭東中との交流学习を行っている。交流籍がある居住地との交流、事業所見学等の校外学習も行っている。個々の生徒の可能性を最大に生かせるように今後も進めて参りたい。

<B 高> 本学部では、小学部小学校、中学部中学校で付けてきた力を土台に、その力をさらに伸ばすとともに、卒業後を見据えた力を育てることで自立と社会参加

をめざす教育を行っている。必要な力として「生活する力」「働く力」「余暇を楽しむ力」の3つを掲げ、卒業後それらがバランスよく生活の中で機能することで、より心豊かな生活ができると考えている。

清掃を学習している生徒は、近隣の公共施設や大学などを清掃させていただくことで、地域貢献にも努めており、機会を提供していただける場所も探している。情報があれば是非提供願いたい。

<協議>

- (委員) 各部の説明、写真が分かりやすかった。一般校の児童生徒が支援学校と交流をしているとのことだが、全体的に関わる機会が少ないと感じている。居住地交流をしているときの、児童生徒さんの反応を知りたい。
- (事務局) 交流する学級について、通常学級や特別支援学級で行う保護者の希望を聞いたり相談をしたりしながら、相手校と準備をして当日を迎えている。あたたかく迎えてくれて、楽しい時間を過ごしている。
- (委員) 地域での取り組みができてきているのは喜ばしいことだ。高等部で販売したときのお金は、どのように生徒へ還元しているか。また、居住地交流に参加している児童生徒さんの割合はどれくらいか。また、ご家族や先生の感想を知りたい。
- (事務局) 販売学習には、毎回多くの方に来ていただいている。収益については、生徒に具体的に示して、各作業班でどのような還元するかを検討している。基本的には次の作業に必要な材料を購入するようにしている。販売準備、販売、売上の計算などの一連の流れを生徒には、できる範囲内で具体的に示すようにしている。
- (事務局) 居住地交流について、本校は4割の方が希望されている。なかなか割合が上がりにくい面があり、PTA評議委員会や学部の懇談等で周知している。
- (委員) 子どもが居住地交流で小学校に6年間行かせてもらったが、コロナで交流ができないときもあった。高学年になると音楽の授業に参加させてもらった。先生によって、いろいろな授業の取り組みがあって緊張しながらも楽しく活動ができた。来月は、今年度初めて交流に行く予定だ。やはり一般の学校に行くこ

とに対して勇気が必要で、楽しいとは分かっているがなかなか勇気が出ないこともご理解いただきたい。

(2) 校内見学

B小→B中→B高→A小→A中→A高の順で見学

(3) 休憩

2 協議（見学後）

(委員) 肢体不自由部門、知的障害部門を見学して、スケジュールが各クラスにあり、見通しが持ちやすい工夫があった。それぞれの特性を捉えて本人のグループを組むという工夫があった。理科、英語の授業もしており、それぞれの特性を考えて授業をしているのが分かった。何度も東支援学校に来ているが、改めて頑張っている姿を見させてもらった。

(委員) 見学の中で、子どものいろいろな表現、一人一人の個性を大切にしながら指導をしていた。個に応じた学習を学校でしているが、家庭・地域で学ぶ場が少なくなっているように感じている。現在は、学校・放課後デイでお願いをしている時代になっているように思う。地域での学校では、自閉症スペクトラム障害の特性から学校に行けない児童がいるように思う。地域の支援学級では、かなり苦勞されているように感じる。支援学校で工夫されていることがあれば聞きたい。

(事務局) 本校にもなかなか学級に入るのがしんどい、苦しさを持っている子どもがおり、どの学部も家庭訪問などの対応をしている。地域の小中学校等にも、支援部の方で相談を受けたり、訪問をしたりし、関係機関の方と連携をしながら支援をしている。

(委員) 先生方の専門性が非常に高く、子ども一人一人の強みをいかした授業づくりがすばらしいと思った。授業に向けての準備が大変ではないかと思う。時間外での勤務がかなり増えているのではないかと心配だ。先生方の働き方について取組を知りたい。

(事務局) 学校をあげて業務の見直しに取り組んでいるところだ。会議、書類などの精選をするために洗い出しをしている。昨年に比べて少し改善傾向で、時間としては減ってきている。19時過ぎには電気が消えている状況だ。

(委員) 東マーケット等、販売学習をされている様子がよく分った。社会参加の場として、公民館での交流ができるなら、販売等の場として協力をしていきたい。

(委員) 先生方の愛情をもった対応がよく分かった。よくされている。障害の程度によって、将来社会に出たときにどのような仕事についているのか知りたい。

(事務局) 企業への就労を目指す生徒もいれば、福祉サービスを利用しながら、ゆっくりとした時間の中で生活をしている方もいる。比較的軽度な生徒は一般企業へ療育手帳をもとに障害者雇用で就労をしている。学校はアフターケアで卒業後3年間を目途に学校からの支援をしている。卒業時にしっかり関係機関とのネットワークをつくり、困ったときの相談等ができるようにしている。

3 学校関係者評価委員会説明

(1) 学校関係者評価について

<事務局が資料により説明>

(事務局) 概ね、高評価であるものの、何点か課題が見られている状況である。共に学び合い、支え合うことでつながっていくことが大切なことで、忘れてはいけない大事なことということが全体を通して出てきているので、子どもたちも我々も共に高め合って笑顔で過ごせる学校づくりを引き続き目指す。保護者の自己評価については、収集中であり、本日は中間報告というかたちでお伝えした。

4 閉会

(校長) 今日は説明や見学を通して子どもたちのがんばりや教員のがんばり、学校が大事にしていることを見ていただけた。感想やご質問の中で、できることをするという力強いお言葉をいただけたことを本当に心強く思った。今後、地域の中で暮らしていく子どもたちを育成していくために地域の皆様の力を借りながら教育活動をしてまいりたい。